

# 第9回もがみがわ水環境発表会 プログラム

10:00 開会のあいさつ

○表彰式「美しい水辺づくり功労賞」 10:05 ~ 10:25

- ☆川西町河川公園を愛する会
- ☆千門町蛸の会
- ☆山辺町立大寺小学校



○口頭発表セッションⅠ 10:30 ~ 12:00

- ①蔵王川の岩石はなぜ赤いのかⅡ (上野龍雅: 山形市立蔵王第一中学校)
- ②耐酸性水生昆虫についての研究(2013) (峯田晃輔: 県立上山明新館高等学校)
- ③寒河江川の水質調査~10年間の調査で見た水質と水生生物との関係~ (大泉隆祐: 日本大学山形高等学校)
- ④養殖ガキはどうしてノロウイルスに汚染されるのか? (伊藤紘晃: 山形大学農学部)
- ⑤途上国の水環境に分布する薬剤耐性菌: テトラサイクリン耐性大腸菌を例に (小澤耕平: 山形大学大学院農学研究科)

○ポスターセッション 12:30 ~ 13:20

【かべ新聞】

- ①山形五堰ごみ調査について (イオン山形南チアーズクラブ)
- ②ゴミを減らしてぼくらの町をきれいにしよう (たてやまキッズクラブ)
- ③指首野川の環境を考えよう (新庄市立新庄小学校)

【ポスター】

- ①ワンパク学園元気全開! 自然と遊ぼう! 親子で魚釣り (守屋元志: NPO 法人みなと研究会)
- ②水質調査から見えてきた最上川の景観 (佐藤 佑: 米沢中央高等学校)
- ③新庄市内における河川の水質調査 (県立新庄北高等学校科学部)
- ④新潟市北潟の水路とメダカの変異体 (高橋慶介: 新潟市立万代高等学校)
- ⑤山形県県民の森湖沼群の環境とシヌラ藻の出現種 (古内一平: 山形大学大学院理工学研究科)
- ⑥庄内砂丘地での冠水の発生による周辺湧水の水質および流量への影響 (梶原晶彦: 山形大学農学部)
- ⑦環境負荷の低減に役立つ省資源型の水稲栽培システムの開発 (村松亜由美: 山形大学大学院農学研究科)
- ⑧最上川源流部における溶存態および不溶存態金属種の挙動 (須貝直樹: 山形大学工学部)
- ⑨馬見ヶ崎川長町農道橋付近の礫種組成 一測定方法によって違いは出るか? (大友幸子: 山形大学地域教育文化学部)
- ⑩「蔵王の樹氷」について (柳澤文孝: 山形大学理学部)
- ⑪平成の名水百選に選出された清流を守る「立谷沢川美化活動」 (齋藤 肇: 日本一の清流・立谷沢川を創る実行委員会)
- ⑫震災起因漂流物をめぐる日米 NGO 連携の取り組みについて (大谷 明: NPO 法人パートナーシップオフィス)
- ⑬平成 24 年度河川ゴミ発生源別実態調査結果 (早坂肯心: 山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所)
- ⑭東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う山形県内河川の放射性物質汚染状況 (長澤吉輝: 山形県環境科学研究センター)

○基調講演 13:25 ~ 14:45

「最上川水系の魚類相—固有の絶滅危惧種をどのように後世に残していくか?」

講師: 山形大学理学部教授 半澤直人 氏

母なる川・最上川には、63種を超える魚類の在来種が生息しています。しかし、様々な人間活動により、そのうち多くの種は絶滅のおそれがあります。この講演では、最上川水系に固有の魚類の絶滅危惧種について紹介します。この講演を通じて、これらの絶滅危惧種を今後どのように保護していくべきかを皆様と考えていただきたいと思います。

○口頭発表セッションⅡ 14:50 ~ 16:00

- ①最上川における近年のアユ漁場の現状 (荒木康男: 山形県内水面水産試験場)
- ②山形の魚・サクラマス、最上川で減ってしまった要因と増やすための取り組み (河内正行: 山形県内水面水産試験場)
- ③最上川清流化と庄内海岸漂着物回収活動の教訓 (今野吉一: 最上川故里ミュージアム)
- ④浄化槽放流水質の経年変化 (中村亮平: 一般財団法人 山形県理化学分析センター)

16:00 閉会のあいさつ

※ 本プログラムの(氏名:所属)については、各研究の発表者(代表者)を記載しております。